

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加をご家族へのお便りの中で参加を呼びかけているが、殆ど参加がない。(以前ご家族からも「他では運営推進会議というものがあるんですよ。」と、当事業所でも行われていることを知らなかった事もあった。)	運営推進会議という敷居の高い会議ではなく、こんな意見が出ている、こんな話をしている等、誰にでも参加が出来る事を周知して頂けるようになる。また、多くのご家族に参加して頂ける事を目標とする。	運営推進会議の会議録を、毎月のお便りと一緒に郵送する。年に6回、会議が行われ、どのような内容を話し合っているか知って頂く。(平成25年1月16日の会議録を、2月12日の郵送から開始する。)	1ヶ月
2	35	年に3回の避難訓練を実施している。しかし、夜間勤務が1名体制の為に、常に火災、災害、緊急時等不安を抱いている。年に3回の避難訓練だけでは、人命の救助に対して不安がある。	緊急災害時の対応を各自がマスターして、いかなる時にも冷静沈着に対応出来るように、利用者を安全に安心して非難が出来る様になる事を目標とする。	新人職員入社時には、オリエンテーションの中にマニュアルの説明だけではなく、実際に指導していく。	入社時
3	35	〃	〃	緊急時の通報、消火、利用者の誘導、緊急蘇生方法等、確実に実施出来る様になる。平成25年年度の年間の目標として、防火管理者を中心として年間の計画、実施を行う。	12ヶ月
4	35	〃	〃	避難時の持ち出し物を整理し、避難訓練時に実施する。(初回、平成25年2月12日の避難訓練時、平成25年度非難訓練時)	12ヶ月
5	6	年間を通して、身体拘束や虐待の研修を行っているが、日常の中で気づかない事や当たり前になっている事も多いのではないかと懸念がある。時々、自分自身を客観的に見ることで防止に繋がることが出来るのではないか。	毎日の日常の中で、利用者に身体拘束や虐待を行っているかも知れないという視点を持つ。	身体拘束廃止・虐待防止委員会を中心に研修を行う。管理者及び主任は、職員面談の際の確認や普段からのインシデント・アクシデント報告の中などから検証していく。また、ストレスケアにも十分配慮する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。